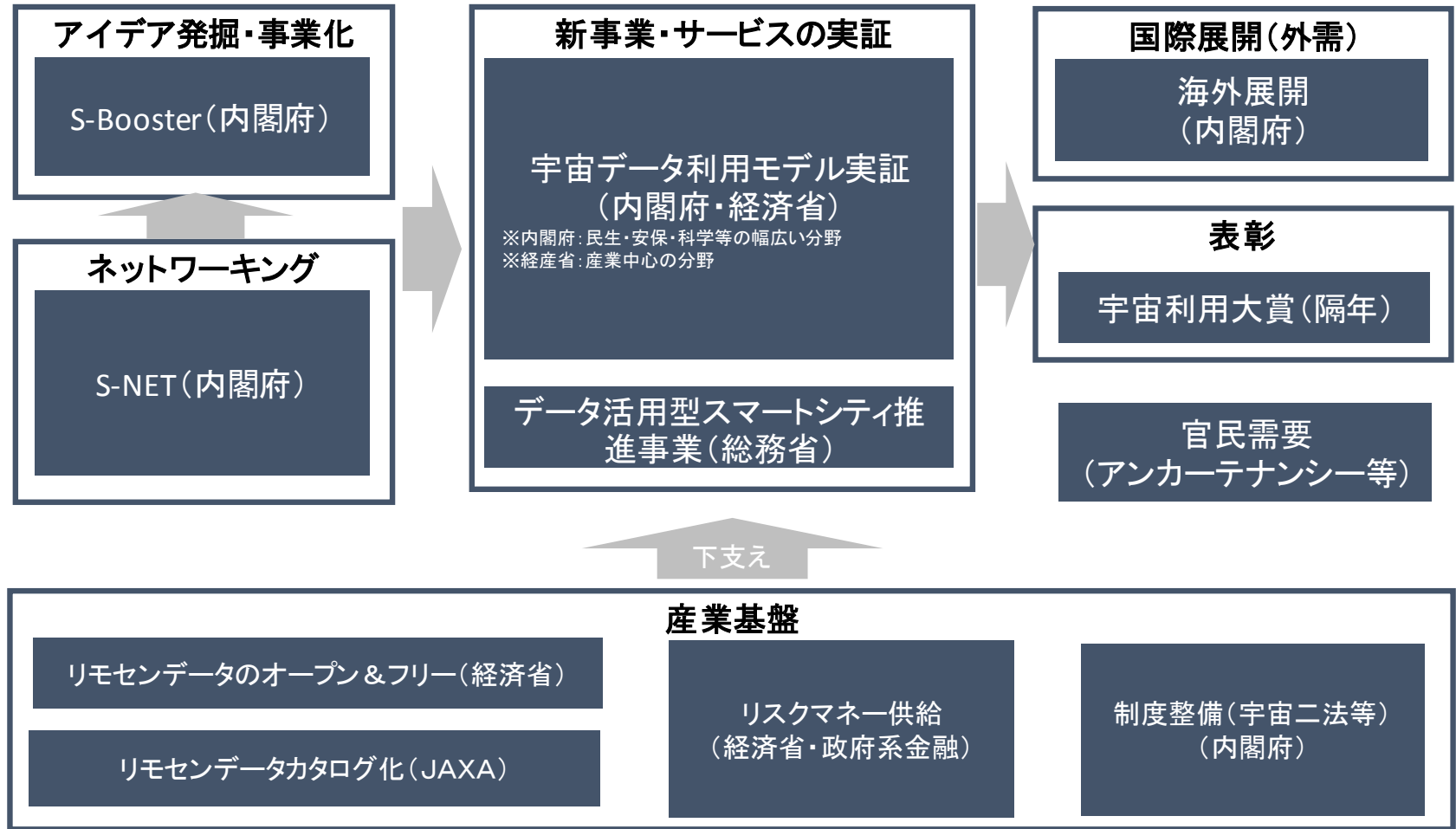


宇宙利用ビジネスの創出支援施策 について

平成29年10月18日
宇宙開発戦略推進事務局

宇宙利用ビジネス創出支援施策の全体イメージ

○宇宙産業ビジョン2030を踏まえて、宇宙利用産業振興のための取組を推進。
○「アイデア・技術シーズ」から「事業化・実用化」までシームレスに支援できるよう、施策の有機的な連携・接続を図り、関係省庁が一体となって支援することが重要



今後のスケジュール(決定しているもの)

- OS-Booster (ビジネスアイデアコンテスト)
10月30日(火) 最終選抜イベント 場所:ニコファーレ
- 宇宙データ利用モデル実証
10月中旬 実証チーム採択
~3月 各分野で実証・報告
- リモセンデータのオープン&フリー化
10月中 報告書公表
4月~ オープン
- 宇宙開発利用大賞
10月2日~11月20日 募集
3月20日 表彰式
- OS-NET
1月19日 沖縄イベント(テーマ:宇宙×ビックデータ)
- 宇宙二法
本年11月15日迄 リモセン法全面施行、宇宙活動法一部施行
来年11月15日迄 宇宙活動法全面施行

(参考)宇宙利用ビジネス創出支援の取組み状況

～過去の宇宙民生利用部会資料より抜粋～

1-①. リモセン衛星や準天頂衛星データ等を活用したモデル事業の推進

- ✓ 衛星データを用いた先進的な利用事例を創出することを通じて利用拡大を図る。
- ✓ このため、衛星データを活用したソリューションサービスについて、非宇宙分野のIT事業者や地方公共団体等を巻き込み実証(生産性、安全性、品質の向上等)を行う。

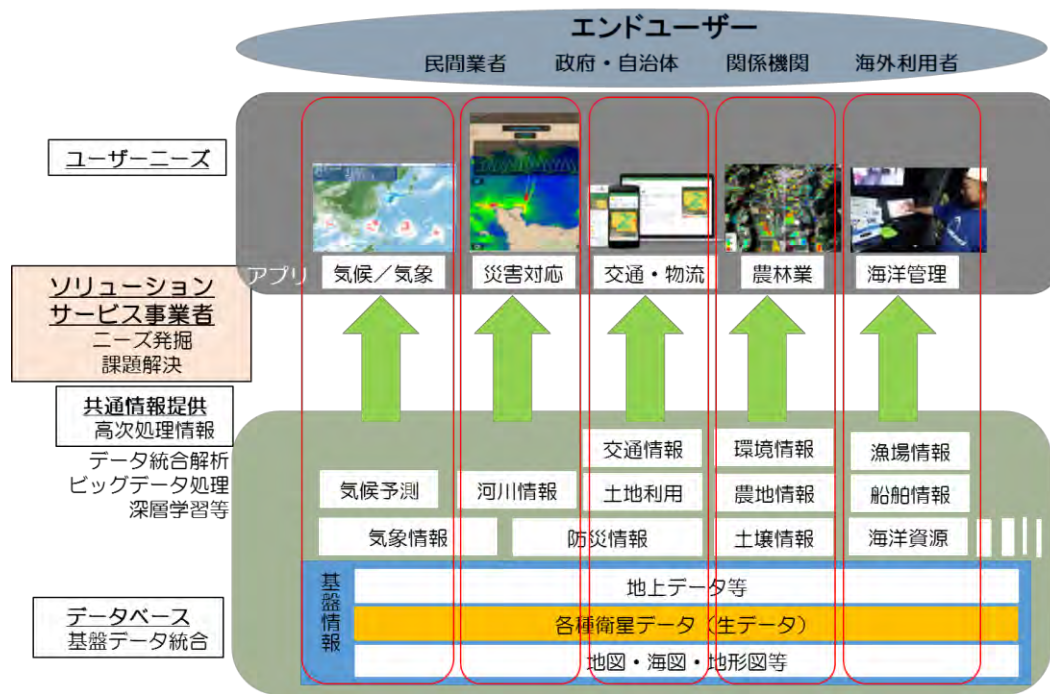
✓ 想定される事例

- ① 国または地方公共団体の業務への衛星データの活用
- ② 衛星データが果たす役割や産業規模が大きく、宇宙利用産業の拡大に向けて大きな波及効果が期待される重点分野(防災、インフラ、農林水産、金融・保険等)

✓ 準天頂衛星等から得られる測位信号やG空間情報センターの情報も連携して活用

✓ 8/23~9/22に公募し、25件応募があり、現在審査中。

✓ 1件1千万円程度、6件程度採択の予定。



1-② モデル実証事業体制

内閣府

委託先：一般財団法人日本宇宙フォーラム

全体運営機関

■業務内容：検討委員会運営、実証チームの公募・契約・管理等



再委託

**A分野
実証チーム**
(企業、研究機関、
大学、自治体等)

■業務内容：
①衛星データの利用実証
②ニーズ・課題等の把握・
分析



再委託

**B分野
実証チーム**
(企業、研究機関、
大学、自治体等)

■業務内容：
①衛星データの利用実証
②ニーズ・課題等の把握・
分析



再委託

**C分野
実証チーム**
(企業、研究機関、
大学、自治体等)

■業務内容：
①衛星データの利用実証
②ニーズ・課題等の把握・
分析

.....



再委託

**●分野
実証チーム**
(企業、研究機関、
大学、自治体等)

■業務内容：
①衛星データの利用実証
②ニーズ・課題等の把握・
分析

6分野程度を想定

(例：防災、インフラ維持管理、農林水産、金融・保険、革新分野、オリパラ等)

1-③ モデル実証事業の概要(イメージ)

- ◆ 本実証では、「サービス開発・提供機関／事業者」が、衛星画像を利用したサービス・事業のモデルを開発し、「ユーザ機関／事業者」に提供。
- ◆ ユーザ機関／事業者は、利用上の課題等を検証して、シーズ側にフィードバック。視点での新たな事業・サービスモデルの創出を目指す。



サービス開発・提供機関／事業者

AI、IoT等を活用した先進的な
事業・サービスモデルの開発
(例)

- ・ 画像処理ツール作成
- ・ データベース作成
- ・ アプリケーション作成
- ・ API作成
- ・ 事業・サービスモデル開発 等



提供



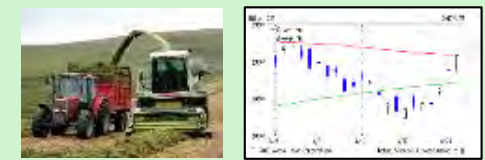
フィードバック



ユーザ機関／事業者

実際に利用して以下の課題等
を検証
(例)

- ・ 利用面・技術面での課題
- ・ コスト・納期での課題
- ・ 高度化・改善すべき点
- ・ データ流通上の課題
- ・ 新たな衛星データニーズ 等



ユーザ指向の事業・サービスモデル創出

2-①スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク(S-NET)

- 既存の宇宙産業に加え、宇宙分野に関心を持つ多様な企業、団体等が集う「場」を提供し、支援・コーディネートを行うため、「スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク (S-NET)」を平成28年3月に創設。

ベンチャー創造協議会
事務局：
経済産業省新規産業室

- ベンチャー企業と既存企業の連携促進
- 既存企業発ベンチャー創造
- 「日本ベンチャー大賞」
- 人材育成・起業家教育の促進
- ベンチャー促進に向けた政策提言

スペース・ニューエコノミー創造ネットワーク
略称:S-NET

事務局:内閣府宇宙開発戦略推進事務局

ワンストップ機能の実現

「場」の提供

「支援・コーディネート機能」の実現・強化

- 企業、大学、研究機関、個人、支援機関等の参加

- 新事業、サービス創造の促進
- 人材育成、起業家教育の推進
- 政府支援策へのアクセス
- グローバル対応(国際的ネットワーク構築、人材交流、海外展開)

「プロジェクト組成・事業創出、成功事例輩出」

・総務省
・経済産業省
・文部科学省
等関係省庁

・JAXA
・産業技術総合研究所
・中小企業基盤整備機構等

・宇宙システム海外展開タスクフォース

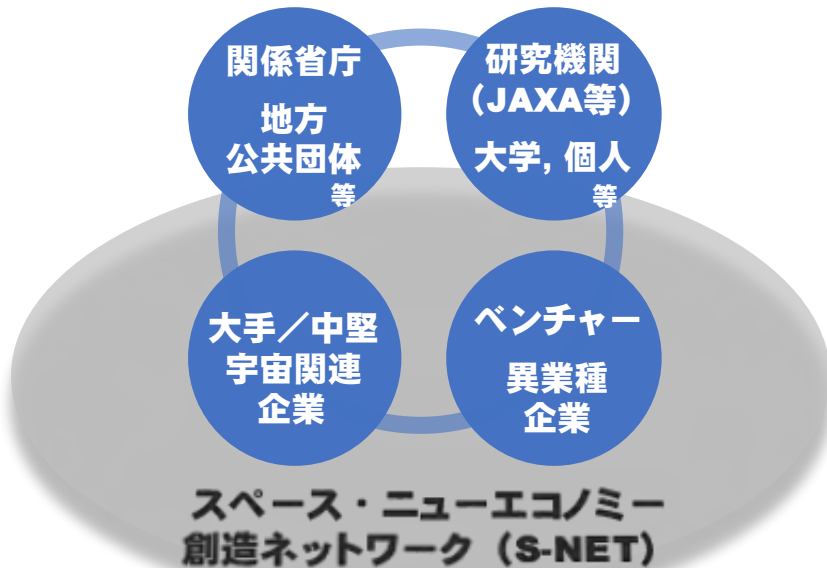
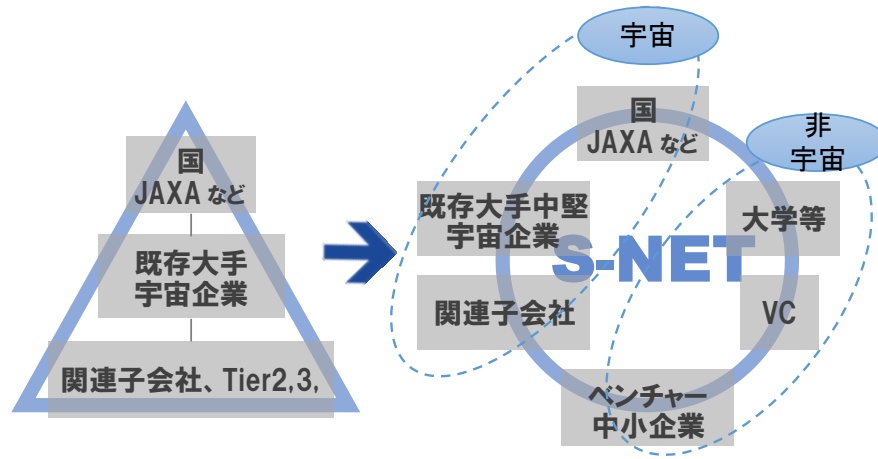
ワーキンググループ

連携

連携

好循環

2-② S-NETの狙い



「場」「コーディネート(支援)」の提供

既存の宇宙産業に加え、宇宙分野に関心を持つ多様な企業、団体等が集う「場」を提供。宇宙をツールとして使う非宇宙ベンチャーなど、川中～川下かけての**デマンドサイドに近い企業も取り込み**、宇宙産業の裾野を拡大。



【既存】衛星通信、衛星放送事業者等

- ・A (小型衛星)
- ・B (小型衛星)
- ・C (探査機) 等

【既存】衛星通信、放送事業者等

- ・D (衛星画像処理配信)
- ・E (気象情報配信)
- ・F (高性能受信機) 等

【既存】自動車関連会社、測量業者等

- ・G (広告代理業など)
- ・H (地場野菜販売)
- ・I (ランチ販売) 等

➔ **新事業の効率的な事業化を促進**

2-③平成29年度S-NET活動状況

ビジネス相談・交流活動の継続力強化

網羅性のあるテーマを設定し、作業部会を設置。(具体的なテーマ:宇宙×農業、ものづくり、ビッグデータ、ツーリズム、エンターテイメント 等)

作業部会において、新規事業案件創出に向けた検討会(東京セミナー)を継続的に開催。

- 6/21 第1回
- 9/12-13 第2回(合宿)
- 12/5-6 第3回(〃)
- 2/6-7 第4回(〃)

「co-creation(共に創る)」をテーマとして、参加者間と専門家を交えた事業検討・取組み紹介を実施中。



継続的な地方創生への貢献案

上記活動と連携し、新たなイノベーションに繋げる場として分科会を開催。

- 7/21 北海道 (宇宙×農林水産業)
- 10/13 福井 (宇宙×ものづくり)
- 1/19 沖縄を予定 (宇宙×ビッグデータ)

トピック:福井では前日に福井工大の学生によるリモセンデータ活用のアイデアソンを実施。



効果的な情報発信等の実施

S-NET会員向けにイベントや公募情報等のメルマガ発信、ホームページを運営。